

第51回九州公演

日本フィル

in Kyushu 2026 宮崎

1975年から始まった日本フィル九州公演は、2025年2月に第50回の節目を迎えました。

今回51回目の公演はマエストロに藤岡幸夫氏、ソリストに周防亮介氏を迎え多彩なプログラムをお送りいたします。本公演の聴き所を日本フィルハーモニー交響楽団コントラバス奏者の鈴村優介さんにお話しをお伺いしました。



指揮
藤岡幸夫さん

ヴァイオリン
周防亮介さん
©JUNICHIRO MATSUO

鈴村さんはこの九州ツアーは何度目となりますか？

色々と思い出があるかと思いますが、宮崎での一番の思い出などございますか？

僕は、2015年の12月に日本フィルへ入団しました！翌年の九州ツアーから毎年参加しているので、今回で11回目となります。九州ツアーは毎年各公演とても楽しみにしているのですが、中でも宮崎公演は特別ですね！

個人的にアイザックスターンホールは国内でもトップクラスに良いホールだと思っていて、日本フィルの特徴でもある弦楽器の重低音の響きや、金管楽器の輝かしいサウンドを生かすことのできる素晴らしいホールなので、毎年宮崎で演奏できる事を楽しみにしています！



コントラバス奏者
鈴村優介さん
©井村直人

今回の第51回目の九州ツアーですが、指揮者には藤岡幸夫さん、そしてソリストには周防亮介さんをお迎えしての公演となりますね！お二人の印象などあればお願いします。

まず指揮者の藤岡さんについてですが、大変エネルギッシュでアツい人ですね！これまで数多く共演をさせていただきましたが、毎度リハーサルから大変にエネルギッシュです!!今回演奏させていただくストラヴィンスキー作曲「火の鳥」では藤岡さんの指揮のもと、我々演奏家もお客様も、気付けばみんながエネルギッシュ!!!そんな演奏になりますと思います!!!!

また、本公演ではマエストロによるトーク解説付きとなるのでこちらも是非お楽しみいただければと思います。

周防さんとの共演では「シベリウス作曲ヴァイオリン協奏曲」がとても印象に残っています。「艶」と「繊細さ」がありながら「力強さ」も兼ね備えている美しい音色がとても魅力的な方だと感じています。今回のブルッフの協奏曲ではどのような演奏をされるのか、僕もとても楽しみです!!

今回のプログラムで鈴村さん一押しの曲目などあればお願いいたします。

ブルッフ作曲のヴァイオリン協奏曲は大好きな曲です！せっかくこのような機会をいただいたので、是非コントラバスに注目してみてください。低音に意識を向けながら聴いてみると、曲の印象が今までとは違って聴こえることもあり、新たな発見をしていただけるかもしれません。

最後に、宮崎の日本フィルファンの皆さまに一言お願いいたします。

年々ご来場いただくお客様が増えており、我々日本フィルへ関心を持っていただけることとても嬉しく思っております。

そして、毎年この公演の開催のためにご尽力いただいている日本フィル九州公演宮崎実行委員会の皆さま、今年からは劇場様にも共催に入っていただき、心より感謝申し上げます。

今年は藤岡幸夫さん指揮のもと宮崎の皆様に「アツい演奏」をお届けできるよう、頑張りたいと思いますので、会場にてお楽しみいただけたらと思います。

会場でお待ちしております！



© 飯田耕治

公演情報

2026

2/8

第51回九州公演

日本フィル in Kyushu 2026宮崎

13:15開場／14:00開演

会場：アイザックスターンホール

出演者：藤岡幸夫（指揮者）、周防亮介（ヴァイオリン）

日本フィルハーモニー交響楽団（管弦楽団）

【プログラム】

モーツァルト：歌劇「魔笛」序曲 K.620

ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲第1番 短調 作品26

ストラヴィンスキー：バレエ組曲「火の鳥」（1919年版）

※藤岡マエストロによる解説付き